

第 118 回・日商簿記検定試験 3 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	小口現金	受取手形
売掛金	売買目的有価証券	未収金	仮払金
前払金	貸付金	未収利息	消耗品
備品	支払手形	買掛金	商品券
未払金	仮受金	前受金	未収利息
借入金	売上	受取利息	有価証券売却益
仕入	交通費	通信費	消耗品費
支払利息	有価証券売却損		

1. 当期首に売買目的のため 1 株 700 円で購入した鬼小島工業株式会社の株式 10,000 株のうち、5,000 株を 1 株 650 円で売却し、代金は当座預金口座に振り込まれた。
2. 備品 300,000 円を本庄商会より購入し、代金のうち 60,000 円は小切手を振り出して支払い、残額については毎月末の 8 回分割払いとした。
3. 前期の決算整理にともない計上した未収利息 20,000 円につき、当期首に再振替仕訳を行った。
4. 事務用文房具を山浦商店より購入し、代金 80,000 円は現金で支払った。なお、当店では文房具については決算時に棚卸を行い、当期の使用額を費用に振り替える方法をとっている。
5. 商品 100,000 円を売り上げ、代金のうち 60,000 円は当店発行の商品券で、残額は現金で受け取った。